

学部 / 看護専門領域 / 健康・疾病・障害の理解 科目コード：120113 臨床栄養学 Nutrition and Food Clinics					
担当教員	長谷川 昇 上田 広美				
実務経験					
開講年次	2年次前期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	エネルギーアセスメント、栄養補給法、疾患別栄養・食事療法				
学習目的・目標	臨床栄養管理をするためには、病態を知ることと栄養状態を把握し、治療効果を高めるための栄養補給をすることが必須である。的確な栄養アセスメントを行うための、栄養素の種類や働き、エネルギー代謝について理解することを目標とする。さらに、疾患別栄養管理に対する知識を深めるために、疾患の成り立ち、栄養補給法や栄養・食事療法の特徴を理解することを目標とする。 【看護師国家試験出題基準】人体の構造と機能:12 代謝（A 栄養とエネルギー代謝）、 疾病の成り立ちと回復の促進：9 栄養の摂取・吸収・代謝機能の障害（A 栄養バランスの不均衡による疾患）				
授業計画・内容					
回	内容				
1-3	栄養アセスメント ・栄養素の吸収と役割 ・栄養補給の方法 ・エネルギーアセスメント（基礎代謝、安静時代謝） ・運動のエネルギー代謝量と推定エネルギー必要量の算定 ・健康づくりのための運動基準、栄養・運動の指導 ・日本人の代謝の特徴 ・血糖上昇速度（GI） ・低タンパク質の課題（高齢者・血中パラメーター） ・食品と医薬品の相互作用				
4-15	病院食（病人食） 栄養補給法・NST 疾患別栄養・食事療法について a 代謝疾患 b 消化器疾患 c 循環器疾患 d 腎臓疾患・透析 e 摂食障害・摂食機能障害 f 呼吸器障害 g 血液疾患 h アレルギー疾患 i 小児疾患・高齢者疾患 他				
教科書	「イラスト症例から見た臨床栄養学」東京教学社				
参考図書等	「イラスト 人体の構造と機能および疾病の成り立ち」東京教学社				
評価指標	期末試験50点、中間試験40点、出席10点				
関連科目	人間機能学Ⅱ、人体生化学				
教員から学生へのメッセージ	栄養管理（栄養評価）についての知識はもちろんのこと、病院での医師、薬剤師、栄養士などの専門職種とのチーム医療、診療報酬についても理解を深めてください。				